

# 池苑庭宮の誕生

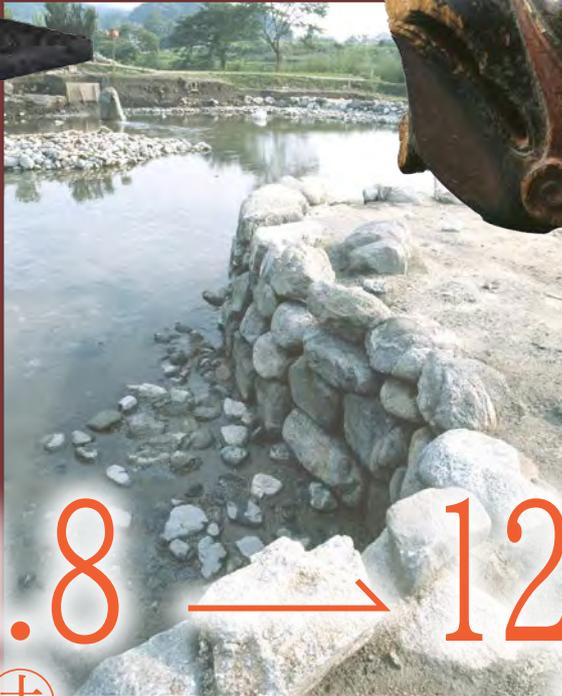
——飛鳥京跡苑池から日本庭園へ——



3



1



遺跡写真：南池・中島より流水施設をみる 飛鳥京跡苑池  
(奈良県立橿原考古学研究所撮影)

- 写真1…伎楽面 迦楼羅 (MIHO MUSEUM蔵)
- 2…亀形石槽 酒船石遺跡(明日香村教育委員会蔵)
- 3…石人像 石神遺跡(奈良文化財研究所蔵(東京国立博物館撮影))
- 4…流水施設 飛鳥京跡苑池(当館蔵)

2022. 10.8 — 12.4

土

日

主催 / 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援 / 読売新聞社

奈良 橿原考古学研究所附属博物館  
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

# 宮庭苑池の誕生

——飛鳥京跡苑池から日本庭園へ

同時開催

壬申の乱ゆかり地連携探訪展

## 壬申の乱と武器

特別展示期間中、関連展示として壬申の乱にまつわる武器の展示をいたします。

主催 / 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援 / 読売新聞社

史跡・名勝 飛鳥京跡苑池の確認から早や23年が経ちました。史跡整備のための発掘調査が一段落し、およその姿があきらかとなりました。政治・文化の中心であった飛鳥宮の苑池は、それまでの伝統的なニワ(庭)から発展し、宮殿附属の「宮庭苑池」として、はじめて本格的な庭園に整備され、以後の日本庭園に決定的な影響を及ぼしたと考えられます。本展覧会では、発掘調査で明らかになった飛鳥京跡苑池に焦点をあてながら、庭園の成り立ちや、庭園での儀礼や宴会などのようすをご紹介します。

あわせて、本年は壬申の乱から1350年にあたりますので、乱に関わる同時代の武器にも焦点をあてたコーナー展示も開催します。

### 研究講座 <聴講無料・申込不要>

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂 (定員 250名)  
時間：13:00 ~ 16:30 (12:00 開場)

10月16日(日)

「飛鳥時代の宮庭庭園 飛鳥京跡苑池」  
奈良県立橿原考古学研究所指導研究員 鈴木一議

「王宮・王都史からみた飛鳥宮跡と苑池」  
国立歴史民俗博物館教授 林部 均

11月6日(日)

「飛鳥京跡苑池出土木簡再考」  
奈良県立橿原考古学研究所資料係長 鶴見泰寿

「古代の苑池と政務・儀礼・外交」  
東京大学史料編纂所教授 田島 公



硯・鉄製品・木製品(左)・海老錠(右) 飛鳥京跡苑池ほか  
〔当館蔵〕

### 特別講演会 <聴講無料・申込不要>

会場：奈良県社会福祉総合センター 大ホール (定員 500名)  
近鉄橿原線「畝傍御陵前駅」下車 東出口から北東へ徒歩3分  
日時：11月23日(水・祝) 13:30 ~ 16:30 (13:00 開場)

テーマ「日本と西洋の古代庭園」

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所所長 本中 眞  
奈良県立橿原考古学研究所所長 青柳正規

### 列品解説

会場：当博物館 特別展示室ほか  
日時：10月15日(土)・11月5日(土)・11月26日(土)  
各回 10:30 ~ 11:00



緑釉瓦 平城宮東院庭園ほか  
〔奈良文化財研究所蔵〕



木面・人形 平城宮西南隅  
〔奈良文化財研究所蔵〕

### ミュージアムコンサート

会場：当博物館 瑞山ホール (定員 50名)  
日時：11月12日(土) 14:00 ~ 15:00 (13:30 開場)  
演奏者：関西フィルハーモニー管弦楽団 楽団員  
※こちらは申込制となっております。詳細は当館ホームページをご覧ください。

※コロナの状況によっては内容が変わることがあります。詳細はホームページ等でお知らせします。

※研究講座、特別講演会、列品解説は予約不要となっております。直接、会場までお越し下さい。

観覧料金	大人	高校・大学生	小・中学生	無料となる場合：
個人	800円	450円	300円	小学生未満、外国人観光客および付き添いのボランティアガイド、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい保健福祉手帳の所持者および付き添い人、県内の小学・中学・高校・特別支援学校生が教員の引率で入館。(※それぞれ証明するものをご提示下さい。)
20名以上の団体	500円	350円	250円	

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館 THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE  
〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町50-2 TEL(0744)24-1185 FAX(0744)24-1355 URL http://www.kashikoken.jp/museum/



休館日：月曜日(10月10日は開館)、ただし会期中の祝日は開館 ■開館時間：9:00から17:00までただし、入館は16:30まで  
■最寄り駅：〔近鉄橿原線「畝傍御陵前駅 Unebiryogyomae sta. B41」下車…西出口から西へ 徒歩約5分〕・〔近鉄南大阪線「橿原神宮前駅 Kashiharajingu-mae sta. F42・B42」下車…中央出口から北へ 徒歩約15分〕

次回展示のお知らせ

## 特別陳列 「迎春の祝事」

2022年12月17日(土) ~ 2023年1月15日(日)